

# 消火薬剤輸送技術による 新たな消火法の開発

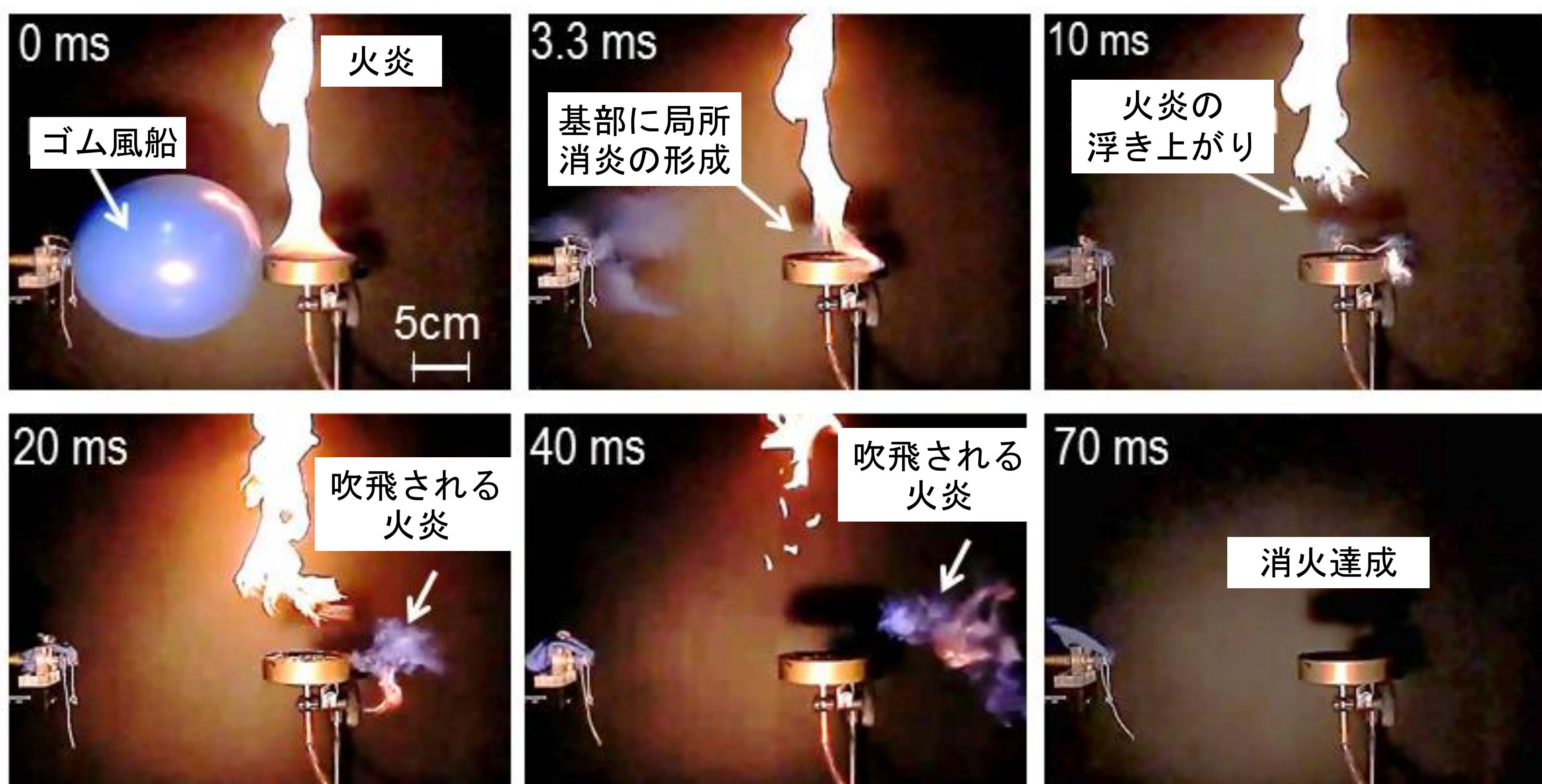
弘前大学大学院 理工学研究科 准教授 鳥飼宏之

## ～カプセル消火法～

不活性ガス消火剤は水損・汚損を回避できるが、消火機器から火源まで輸送する間に**周囲空気と混合して消火能力が激しく低下**する。そこでカプセルに消火剤を充填して、火源まで輸送する。この消火法を**カプセル消火法**と呼んでいる。

カプセルに充填された消火剤は容易に遠方まで**消火剤濃度を維持**することができ、そして火源近傍でカプセルを破壊することで高濃度の消火剤を局所的に火炎に供給することができる（**遠方消火が可能**）。また、カプセルに輸送を制御することで、ピンポイントで火源に消火剤を供給することができる（**ピンポイント消火が可能**）。

### ○ゴム風船消火法



### 想定される用途

カプセル消火法は、手術室など高価な機器が存在し、**消火器や水の使用が制限される場所**での消火に適しています。更に、火源近傍から高濃度の消火剤を火炎へ供給することができるため、**使用する消火剤量を減少させる**ことができ、閉鎖空間においてのガス消火剤の使用を可能とします。

### ○氷カプセル消火法

